

省エネ照明「CCFL蛍光管 ソラナ」発売

企業コード：010235314 大栄建工(株) (当別町)

管工事等設備工事・土木工事、太陽光発電システム販売・施工などを手がける大栄建工(株)(石狩郡当別町)は、(株)豊光社(北九州市)の販売代理店として、省エネ照明「CCFL蛍光管 ソラナ」の販売・施工を開始した。

同社は、近年は環境商品の販売・施工にも注力。昨年10月には、太陽光発電システムの発電モジュールや発電中の電力量など、システムを実際に見ることができるショールームを札幌市内にオープンしている。

「CCFL蛍光管 ソラナ」は、LEDと同等の寿命4万時間、消費電力40%減、CO₂40%削減の省エネを実現しながら、従来型の蛍光灯のように光の拡散範囲が360°である点が特徴。

「CCFL」は、冷陰極管(Cold Cathode Fluorescent Lamp)といい、発光の際に陰極を加熱せずに電子を放出する。一方、従来型蛍光灯は、熱陰極管(Hot Cathode Fluorescent Lamp)といって発光の際は電極を加熱し熱電子放出を行う。CCFLは熱を発しないため消費電力量が少なく電気料金も少ない省エネ照明といえる。「LEDと比較し割安なため通常の蛍光灯から交換しやすく、また、CCFLやLED照明は消耗品費や修繕費になるケースも多くあります」と山田社長は話す。

一方、CCFLはノートパソコンや液晶テレビのバックライトとして、約25年前から市販製品



「ソラナ」の明るさ・消費電力を体験できるショールームの部品として流通してきた。つまり耐用年数が4万時間以上であることが実証されている。CCFL蛍光管として製品化もされていたが、一般的な蛍光灯と比較し価格が高かったため、普及しなかった経緯がある。しかし、LEDが普及し始めた現在、ノートパソコンのバックライトなどとして実績があるCCFL蛍光管は、LEDより割安感があり、脚光を浴びつつある。

「CCFL蛍光管 ソラナ」は、直管蛍光管(40W相当/消費電力28W)のほか電球型蛍光照明(60W相当/消費電力11W)がある。直管蛍光管は安定器の配線工事が必要となるが、電球型蛍光ランプは、従来の電球ソケットでそのまま使用できる。また、赤・ピンク・青・黄緑・緑・黄の6色から色を選ぶことも可能。

同社では、「CCFL蛍光管は、長年の使用実績があるため品質的にも安心でき、照明の省エネを考える際には選択肢のひとつとして検討してみたい」と話している。



8/19に開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2011」にも出展

大栄建工(株) ショールーム

〒002-0857 札幌市北区屯田7条10-1-3

TEL：011-772-9126

営業時間： 8：00～18：00

定休日： 日曜

本社

〒061-0226 石狩郡当別町錦町351

TEL：0133-23-2032

<http://www.daieikenko.co.jp/>